

# 日语经贸文选

李二敏 编著

对外经济贸易大学出版社

(京)新登字 182号

图书在版编目(CIP)数据

日语经贸文选 李二敏编著. —北京:对外经济贸易大学出版社,  
2005

ISBN 7-81078-578-8

I .日... II .李... III .经济—日语—高等学校—教材  
IV .H36

中国版本图书馆CIP数据核字(2005)第131073号

© 2005年 对外经济贸易大学出版社出版发行

版权所有 翻印必究

## 日语经贸文选

李二敏 编著

责任编辑: 郭德玉

---

对外经济贸易大学出版社

北京市朝阳区惠新东街12号 邮政编码: 100029

网址: <http://www.uibep.com>

---

北京市山华苑印刷有限责任公司印装 新华书店北京发行所发行

成品尺寸: 140mm×203mm 9.625印张 241千字

2006年1月北京第1版 2006年1月第1次印刷

---

ISBN 7-81078-578-8

印数: 0 001—5 000册 定价: 16.00元

# 前 言

本教材是为了满足大专院校日语高年级学生和具有同等程度的日语学习者学习经贸最新词汇、经贸知识及日语经贸语言表达的需要而编写的。

全书在内容上共分为五大部分。第一部分为金融篇，第二部分为贸易篇，第三部分为国际经济篇，第四部分为企业及经济结构篇，第五部分为经济理论篇。课文体裁一部分为解说性文章，尽量做到通俗易懂，使不具备经贸专业的学生也能入门。一部分为理论性文章，从语言、句法及专业方面都具有较强的知识性。一部分为经贸评论文章，结合当前形势，选编最新内容，覆盖面较广。使学生在在学习语言、掌握最新词汇的同时，对日本经济现状也能有全面的了解。

本教材共有 20 课，每课由课文、词汇、名词术语解释、思考题以及课文与相关内容图示等内容组成。每课课文后不仅对专业词汇做了详细说明，最后部分还配有中文译文。不仅可作为大专院校日语教科书使用，还适宜从事经贸、金融、工商等工作的涉外人员使用。

目前，许多高等院校的日语专业都相继新开设了经贸日语课程，该教材的出版不仅可以解决日语专业的教学需要，使学生能够更系统地掌握经贸术语和有关语言表达，也为全国经贸方面的日语爱好者提供了一部高级读物。

# 目 录

## 金 融 篇

第一課	日本版金融ビッグバンで何が変わる？ .....	3
第二課	金融政策の仕組みはどうなっていますか？ .....	14
第三課	不良債権とは何ですか？ .....	26
第四課	電子マネーは現金を超える？ .....	38

## 貿 易 篇

第五課	WTOは国際貿易の裁判所 .....	51
第六課	貿易黒字の日本がなぜ不況なのか？ .....	62
第七課	国際分業と世界貿易 .....	72

## 国际经济篇

第八課	通貨危機でアジアは生まれ変わった！ .....	85
第九課	国際経済とお金の動き .....	95
第十課	資本移動と資本規制 .....	106

## 企业及经济结构篇

第十一課	会社経営の仕組みについて .....	121
------	--------------------	-----

第十二課	六大構造改革と景気低迷	131
第十三課	人材育成	142
第十四課	アングロサクソン型の大競争時代	155

## 经济理论篇

第十五課	複合不況が日本崩壊を引き起こす	171
第十六課	ニューエコノミー論は米国版バブル?	182
第十七課	国の予算と財政投融资	193
第十八課	低金利政策と調整インフレ論	203
第十九課	消費と貯蓄	216
第二十課	デフレの実態への正しい認識	226

## 中文译文

第一课	日本金融大改革将带来什么变化?	241
第二课	金融政策是由什么构成的?	244
第三课	什么叫做不良债权?	246
第四课	电子货币能超过现行货币吗?	248
第五课	WTO—“国际贸易法庭”	251
第六课	日本贸易顺差为什么还不景气?	254
第七课	国际分工与世界贸易	256
第八课	通货危机使亚洲重整旗鼓	259
第九课	国际经济与货币浮动	262
第十课	资本流动及资本限制	265
第十一课	公司经营机制	269
第十二课	六大构造改革与景气衰退	271
第十三课	人材培养	274

第十四课	英美模式的大竞争时代.....	277
第十五课	复合型萧条导致日本经济崩溃.....	280
第十六课	新经济论莫非是美国的泡沫经济?.....	283
第十七课	国家预算与财政投融资.....	286
第十八课	低息政策与政策性通货膨胀论.....	288
第十九课	消费与储蓄.....	291
第二十课	对通货紧缩现状的认识.....	294

# 金融篇



# 第一課

## 日本版金融ビッグバンで 何が変わる？

### 金融制度を根本から変える

多くの規制でがんじがらめにされた日本の金融市場を大胆に自由化して、金融先進国をめざすもの。

金融業界に嵐が吹き荒れることは間違いないが、個人生活にも大きな影響が出る。

銀行の預金利率をはじめ、金融機関のサービスはどこも横並び。これは行政の過保護と強い規制、業界の仲間意識のせいだ。おかげで個人の持つ金融資産（預貯金、株・債券、保険などの合計）は1400兆円（2001年末までは1421兆円）と巨額なのに生かすことができず、株式市場や外為市場なども諸外国からそっぽを向かれて国際的な地位が下がるばかりだ。

そこで1996年当時の橋本竜太郎首相は「金融システムを改革し、ニューヨーク、ロンドンに匹敵する魅力的な東京市場を作り上げる」と表明した。これが後に、「日本版ビッグバン」とか「金融ビッグバン」と呼ばれる日本の金融制度大改革の始まりであった。

また1997年6月日本金融ビッグバンの構想では銀行の不良債権の処理は、このビッグバン完成の前に片付けるべき問題として位置付けられ、そして、次のような改革三原則を掲げた。

① フリー (free)

市場原理が働く自由な市場に———参入・商品・価格等の自由化

② フェア (fair)

透明で信頼できる市場に———ルールの明確化・透明化、投資家保護

③ グローバル (global)

国際的で時代を先取りする市場に———グローバル化に対応した法制度・会計制度・監督制度の整備

こうした構想はこれまで禁じられてきた商品の規制緩和、できなかった業務・販売ルートの拡大、法律で仕切られていた銀行・証券・保険の垣根をはずすという手順で進んできた。金融機関だけではなく、個人生活にまで大きな影響を及ぼした。

### ひと足先に改革を断行 世界を代表する市場に

英米は日本に比べ、10年以上から改革に取り組み、世界の金融センターとしての地位を確保してきた。自国の金融機関が総崩れしても、利用者の利益を優先して改革を断行した姿勢は、見習わなければならない。

日本がモデルにするのは、86年から始まったイギリスの金融制度改革「ビッグバン」だ。宇宙の始まりである大爆発になぞらえ名づけられた。

かつては世界金融の中心地だったロンドン・シティの沈滞ぶりに焦っていた「鉄の女」サッチャー首相（当時）は、株式取引委託手数料（株の取引業者に委託したときにかかるもの）の自由化、取引業者の資格制度廃止、外国資本の参入認可などを

はじめとする大胆な自由化に踏み切った。その結果、株式売買高が2倍以上になり、シティーの雇用人口は4年間で30%増え、見事に復活した。

アメリカのニューヨーク市場は段階的に改革を実施してきたが、その第一弾が株式取引委託手数料の自由化だった。株の取引を低料金で引き受けるディスカウント・ブローカーが人気になり、証券会社はそれ以外の業務で収益を稼ぐようになった。

自由化によって、サービスの多様化や業務の多角化が進んだことを示している。

### 中途半端に終わらなければ利用者にメリット

改革がもくろみどおりに進めば、利用者には、いままでうけられなかったようなサービスが提供されることになるはずだ。

しかし、業界の反発などで改革のスピードや内容が鈍る可能性がある。

金融ビッグバンによって業界が変身すれば、私たち利用者は、いままでになかったサービスが受けられ、資産を増やすチャンスも広がる。それこそが、金融ビッグバンの目的だ。

商社、メーカーなど異業種からの参入があれば、違うタイプのサービスが受けられるだろう。デリバティブ（金融派生商品）を駆使した新しい商品が続々生まれれば、もっと有利に運用できるかもしれない。株を売買するたびに払っていた手数料は安くなることうけあいだ。

しかし本当に予定どおりに実現するかどうか、疑問をはさむ意見もある。来年度のスケジュールは明確にできているが、そこから先がまだはっきりと示されていない。とくに保険分野については、ほとんどあいまいなままだ。

また、反発の少ないところから手をつけるやり方をしているが、改革には反発はつきもの。断行という姿勢が必要になるだろう。

ただでさえ欧州からは「時間をかけすぎ」と批判が出ている。せつかくの改革が中途半端にならないように期待したい。

## 単 詞

ビッグバン	[名]	大爆炸；大改革
がんじがらめ	[名]	妨碍，束缚，捆绑
嵐（あらし）	[名]	暴风雨；风暴
吹き上げる（ふきあげる）	[自下一]	刮得厉害，狂风大作
預金（よきん）	[名・自他サ]	存款，存钱
利率（りりつ）	[名]	利率
横並び（よこならび）	[名]	同等，一律
行政（ぎょうせい）	[名]	行政，政务
業界（ぎょうかい）	[名]	同行业
仲間（なかま）	[名]	同事，同仁，伙伴；同类
預貯金（よちよきん）	[名]	储蓄，存款
巨額（きょがく）	[名]	巨额，巨款，大笔资金
外為（がいため）	[名]	外汇
そっぽを向く〈そっぽをむく〉	[组]	不理睬，不搭理

不良債権 (ふりょうさいけん)	[名]	不良债权, 债权 呆帳
片付ける (かたづける)	[他一]	整理, 整顿; 解 决, 处理
位置付ける (いちづける)	[他一]	确定……位置, 赋予……地位
匹敵 (ひってき)	[名・自サ]	匹敌, 比得上, 顶的上
魅力 (みりょく)	[名]	魅力, 吸引力
グローバル化 (グローバルか)	[名]	全球化, 国际化
ルート	[名]	途径, 来源, 渠 道; 手段
仕切る (しきる)	[他五]	隔开, 区分开
垣根 (かきね)	[名]	围墙, 栅栏
垣根をはずす (かきねをはず す)	[组]	拆除壁垒
なぞらえる	[他下一]	比作, 比拟
ロンドン・シティー	[名]	伦敦商业・金融 区, 伦敦城
沈滞 (ちんたい)	[名・自サ]	沉滞, 沉闷, 不 振
焦る (あせる)	[自五]	焦躁, 急躁, 着 急
ディスカウント	[名]	折扣, 廉价, 减价
ブローカー	[名]	证券买卖商; 经 纪人
多角化 (たかくか)	[名]	多样化, 多边化, 多元化

メリット	[名]	有益，好处；价值
もくろみ	[名]	计划，筹划，策划，企图
デリバティブ	[名]	金融衍生商品
駆使する（くしする）	[名・他サ]	运用，发挥
うけあい	[名]	保证，一定
疑問をはさむ（ぎもんをはさむ）	[组]	置疑，抱有疑问
ただでさえ	[副]	平时就……，本来就……

## 名词术语解释

### 金融ビッグバン

ビッグバンは大爆発という意味である。天文用語としては宇宙はビッグバンによって、始源の高温、高密度の物体から現在の姿となったと説明されている。

金融ビッグバンは最初英国が金融、資本市場の自由化などを行った1986年10月27日のことをこう呼ぶのであるが、現在では金融改革を指すのである。

### 金融システム改革

2001年までに不良債権処理を進めるとともに、日本の金融市場を欧米市場並の国際金融市場として再生することを目指した金融システムの改革。証券取引審議会、企業会計審議会、金融制度調査会、保険審議会、外国為替審議会の5審議会の発案を基に、1997年6月に「金融システム改革のプラン」が策定され、中に盛り込まれた

金融ビッグバン構想ではフリー、公正、グローバルを3原則として、多くの方策が具体的なスケジュールとともに合意された。その後、98年4月に外国為替取引を全面自由にした改正外為法が施行され、98年6月には金融システム改革法が成立した。

#### 垣根をはずす

日本では銀行は預金、貸出、為替取引を、証券会社は有価証券の売買、売買の媒介、引受、募集などを「垣根」を引いて、その兼業を禁じていた。この点が「不当に金融機関同士の競争を阻害している」として、欧米やアメリカからの批判をあげている。近年来、証券会社は国債担保金融を認可され、それぞれの垣根が低下しつつある。なお、銀行間にも銀行の種類により、垣根があるが、こちらの方も相互乗り入れがすすみつつある。

#### デリバティブ

金融派生商品であり、株式や債券、為替などの基本的な商品から生まれたもので、「先物取引」や「オプション取引」が代表的のものである。

#### ディスカウント・ブローカー

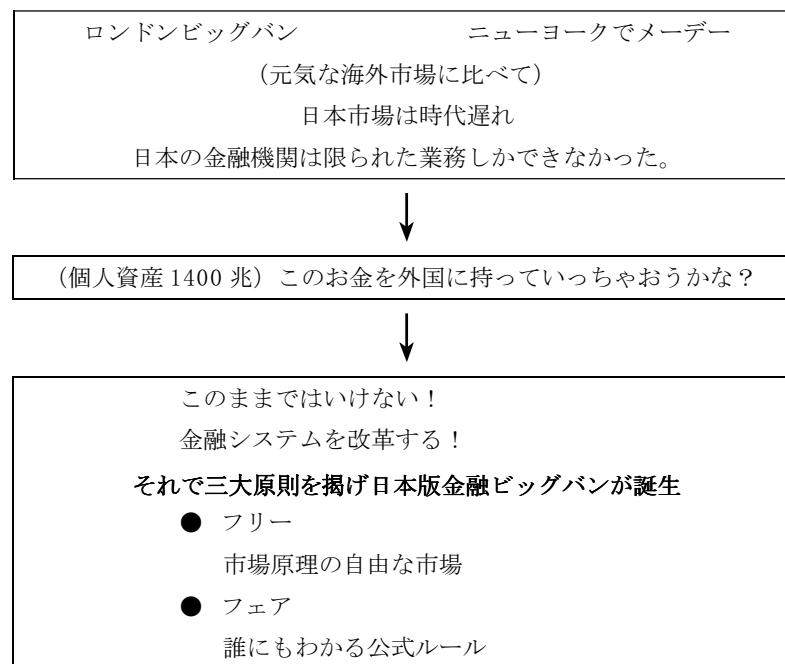
顧客に独自のリサーチや投資アドバイスなどを提供しない代わりに、割安の手数料で業務を行う証券会社である。1975年にアメリカで実施された株式売買委託手数料の自由化では、個人投資家向け手数料が上昇、ディスカウント・ブローカー登場のきっかけとなった。ディスカウント・ブローカーの特徴として、①主に個人投資家向けに株式などの委託売買の執行業務などを行う、②投資などのアドバイスなどのサービスを提供せず、セールス活動を行わないことで営業コストを節約、割安の手数料

を実現していた、③訪問外交をせずにマルチメディアによる広告宣伝により顧客を開拓する、などの点があげられる。登場当時は認知度は低かったが、インターネットの普及とともに、急速にシェアを伸ばすこととなった。

#### シティー

ロンドン金融市場の通称である。ロンドン東部にある地名で、金融機関や取引所が集中していることから転じてロンドンの金融市場を指す通称になった。

### 课文与相关内容图示



- グローバル  
英米と同じ制度で世界に適用する市場に



- で、何をやるかというと、
- 銀行・証券・保険の垣根をはずす
  - これまで規制されていた商品の扱いを自由に

## 練習題

1. 本文を読んで、次の質問に答えなさい。
  - ① 金融ビッグバンの意味は何ですか。その改革三原則の目的を説明しなさい。
  - ② 日本の個人金融資産は 1400 兆円もあるのに、なぜ生かすことができなかったのですか。
  - ③ 利用者にとって、金融ビッグバンによって何のメリットをもたらすことができますか。
  - ④ 例をあげて、デリバティブの意味を説明しなさい。
2. 次の日本語を中国語に訳しなさい。
  - ① 銀行の預金利率をはじめ、金融機関のサービスはどこも横並び。これは行政の過保護と強い規制、業界の仲間意識のせいだ。
  - ② 個人金融資産は 1400 兆円と巨額なのに生かすことができず、株式市場や外為市場なども諸外国からそっぽを向かれて国際的な地位が下がるばかりだ。
  - ③ こうした構想はこれまで禁じられてきた商品の規制緩和、できなかった業務・販売ルートの拡大、法律で仕切られ